



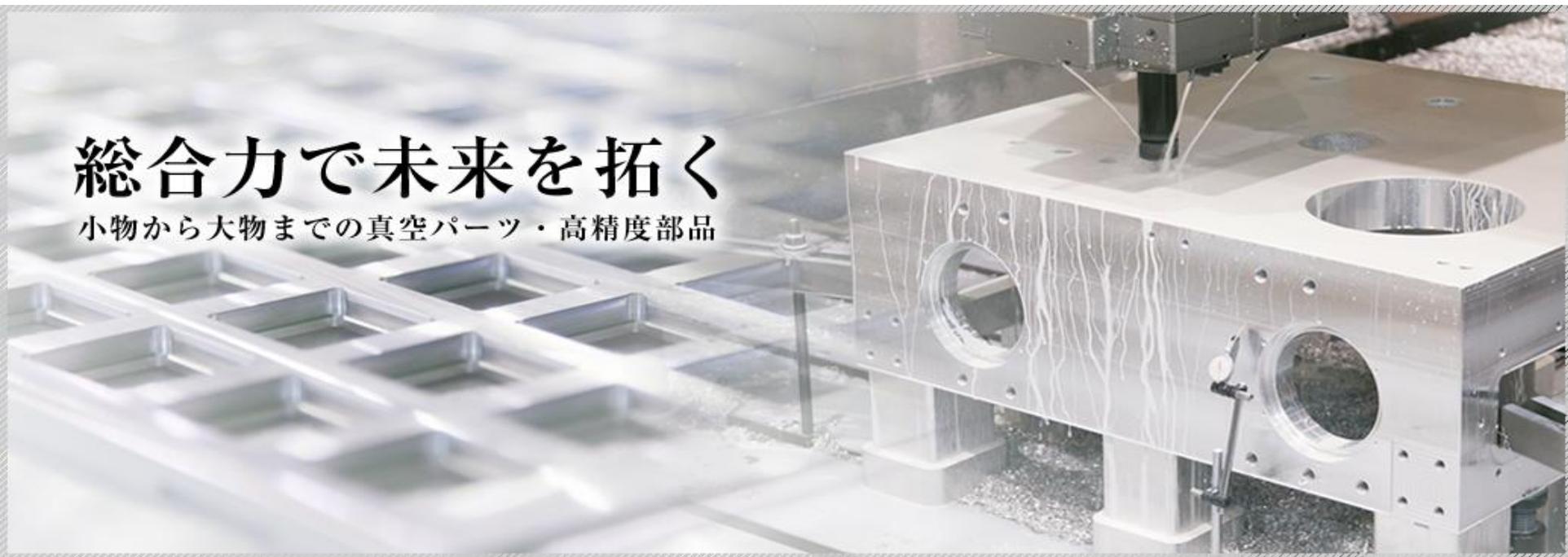
東証マザーズ(TSE Mothers):6264

**株式会社マルマエ**  
**平成28年8月期 第3四半期決算 補足資料**

平成28年7月13日

**総合力で未来を拓く**

小物から大物までの真空パーツ・高精度部品



## PL分析

PL

	平成27年8月期 第3四半期累計期間		平成28年8月期 第3四半期累計期間		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	対前年同期 増減率 (%)
受注高	1,757	—	1,532	—	△12.8
受注残高	368	—	367	—	△0.3
売上高	1,582	100.0	1,635	100.0	3.3
売上原価	1,111	70.2	1,082	66.2	△2.6
売上総利益	471	29.8	553	33.8	17.4
販売管理費	159	10.1	195	11.9	22.2
営業利益	311	19.7	357	21.9	14.9
経常利益	304	19.2	335	20.5	10.2
特別損益	14	0.9	92	5.6	533.2
当期純利益	316	20.0	281	17.2	△11.1
EPS (円)	60.12	—	53.40	—	△11.2
EBITDA	395	25.0	470	28.8	18.9

Point

### ①受注状況

- 半導体分野：872百万円  
(対前年同期：7.4%減)
- FPD分野：647百万円  
(対前年同期：30.6%増)
- その他分野：11百万円  
(対前年同期：96.3%減)

### ②売上高

- 対前年同期3.3%の増加
- ※分野別の詳細は次頁

### ③売上原価・売上総利益

- 材料費：42百万円減  
(対前年同期：14.6%減)
- 労務費：46百万円増  
(対前年同期：14.2%増)
- 外注加工費：96百万円減  
(対前年同期：34.4%減)

### ④営業利益

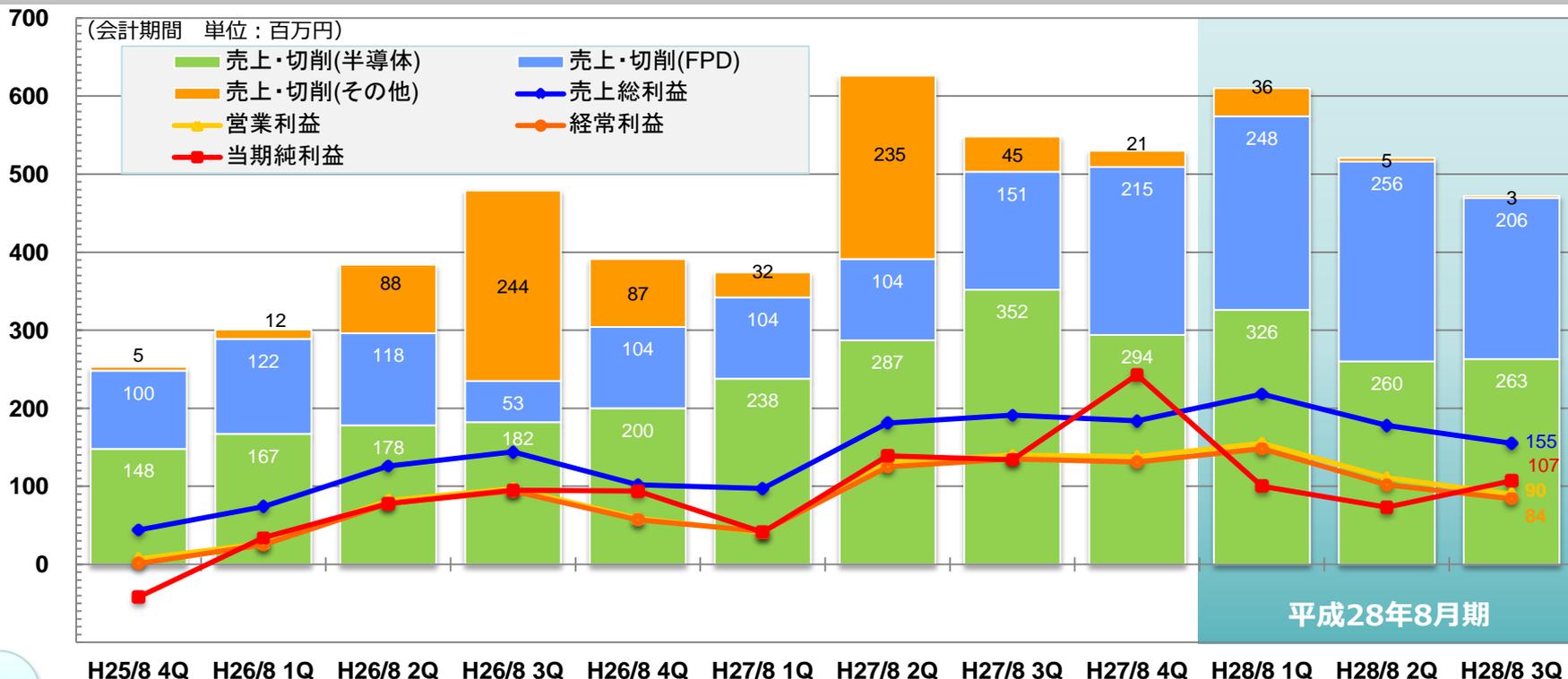
- 販管費は研究開発費と人件費の増加

### ⑤営業外収益/費用・特別利益/損失

- 支払利息：18百万円、補助金：87百万円
- 法人税等：145百万円

# 1.決算概要

## 四半期業績の推移



### Point

#### ①売上高は、FPD分野が大幅増加（数値は累計期間）

■半導体分野：850百万円（対前年同期：3.2%減）

- 顧客内におけるシェア拡大と生産設備の増強とマルマエ生産方式の推進による競争力強化で堅調に推移

■FPD分野：712百万円（対前年同期：97.4%増）

- 有機EL向けなどの新規部品の受注拡大を図る

■その他分野：46百万円（対前年同期：85.3%減）

#### ②損益面では売上高の増加と生産性向上で順調

- 生産力向上の設備投資で減価償却費が増加ながら、売上高増加と生産効率改善で営業利益増加
- 四半期純利益は、税効果会計における繰延税金資産を反映

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

# 1.決算概要

## B/S分析

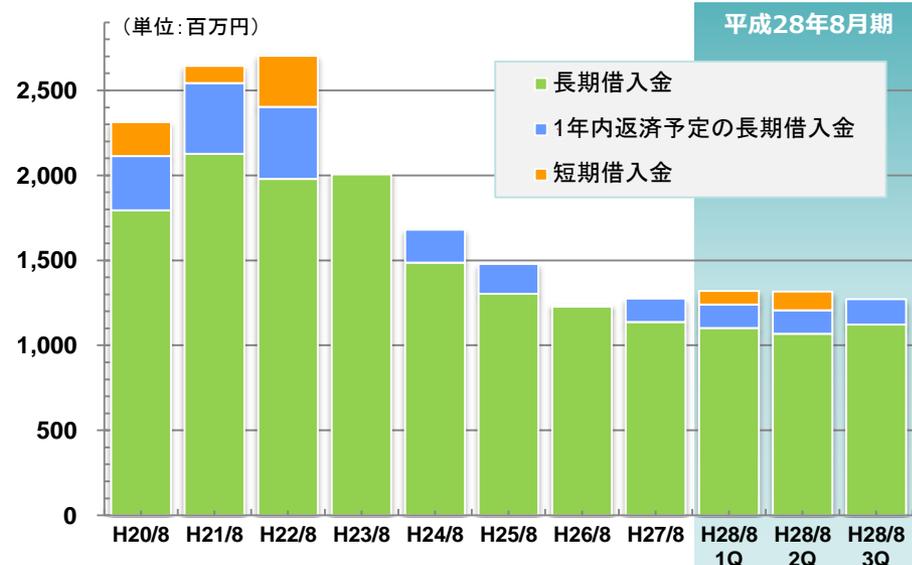
B/S

(単位：百万円)	平成27年8月期 会計年度末	平成28年8月期 第3四半期末
流動資産	1,234	1,301
現金及び預金	397	514
売上債権 (受取手形・売掛金電子記録債権)	574	601
たな卸資産	165	136
固定資産	954	1,090
建物・土地	605	637
機械及び装置	271	415
流動負債	333	350
有利子負債（短期）※	138	150
固定負債	1,140	1,145
長期借入金	1,137	1,122
負債合計	1,473	1,496
純資産合計	715	896
総資産	2,188	2,392

※ 有利子負債（短期）：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

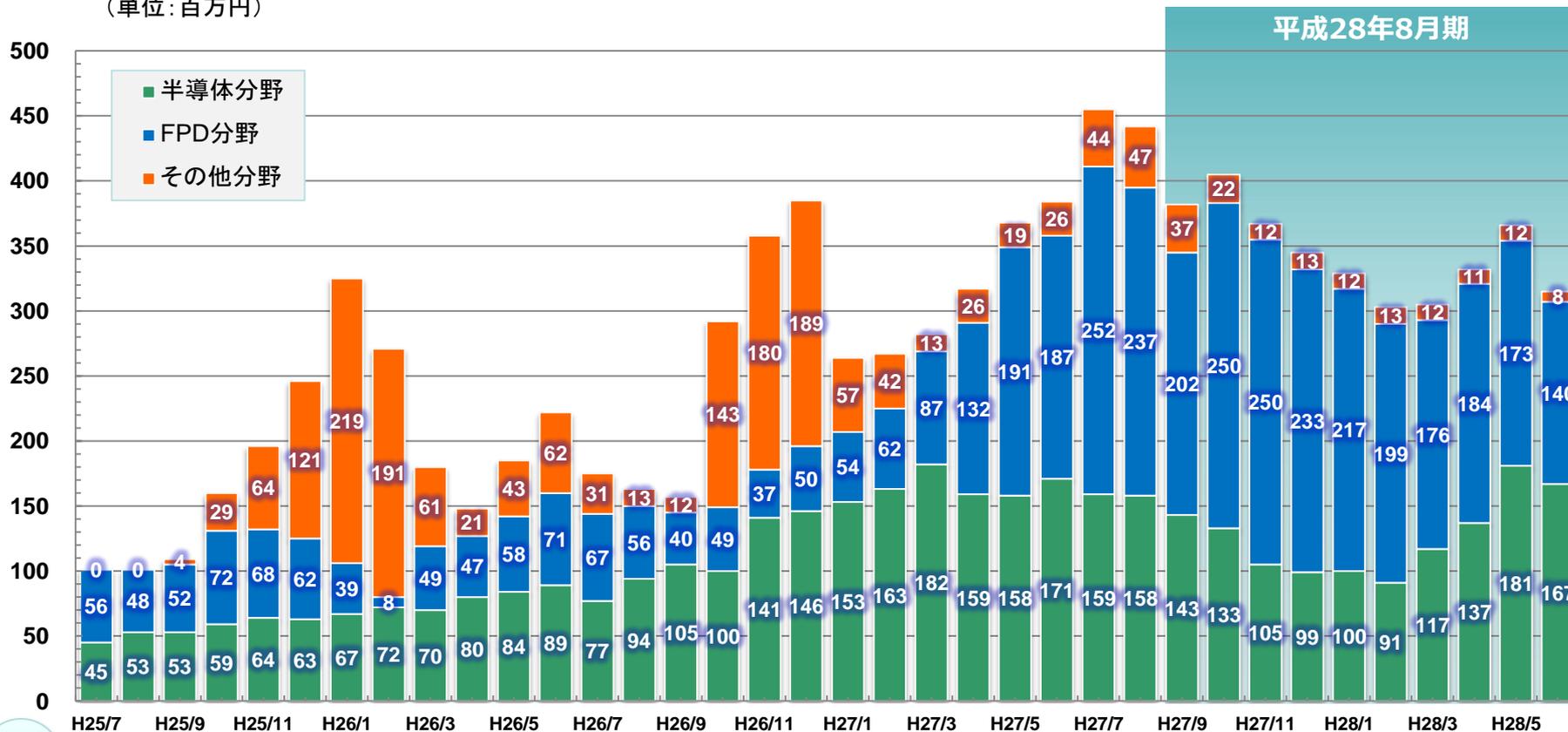
Point

- ① **資産：2,392百万円(前期末比:203百万円増加)**
  - 現金及び預金：117百万円増加
  - 売上債権：26百万円増加
  - たな卸資産：28百万円減少
  - 有形固定資産：157百万円増加
- ② **負債：1,496百万円(前期末比:22百万円増加)**
  - 1年内返済予定長期借入金：11百万円増加
  - 未払法人税等：42百万円増加
  - 長期借入金：15百万円減少
- ③ **純資産：896百万円(前期末比:181百万円増加)**
  - 利益剰余金：181百万円増加
  - 自己資本比率：32.7%→37.5%



## 月次受注残高の推移

(単位:百万円)



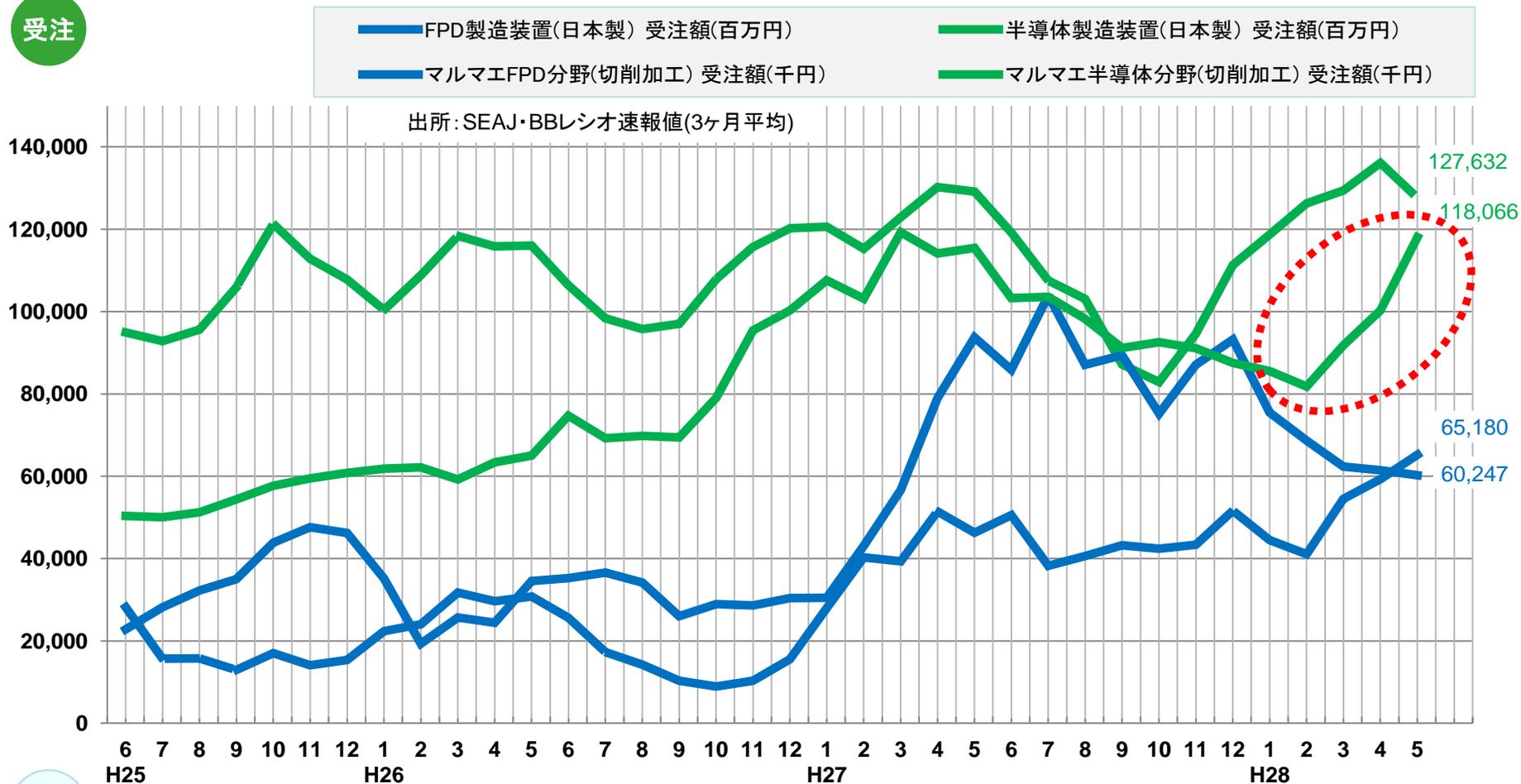
Point

- 半導体分野では、微細化投資や3D NAND投資に伴う受注拡大によって過去最高水準。
- FPD分野は、目先受注は一段落も、有機EL向け引き合いが急拡大。
- その他分野は、複数案件の引合い出るも受注に至らず。

※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム (LT) があり、LTの長い案件が多いと売上高に比べ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高に比べ受注残は低めに表れます。(主に半導体はLTが短く、FPDはLTが長めです)

## 市場とマルマエの受注動向比較（3ヶ月移動平均数値）

受注



Point

- 半導体分野は、受注品種の拡大と市場回復が重なり、足元は過去最高水準の推移となる。
- FPD分野では、設備投資は、中国の大型パネル計画始動に加え、有機EL向け受注が始まった。

# 3.平成28年8月期の業績予想

## 今期の見通し(損益・設備投資・固定費要因)

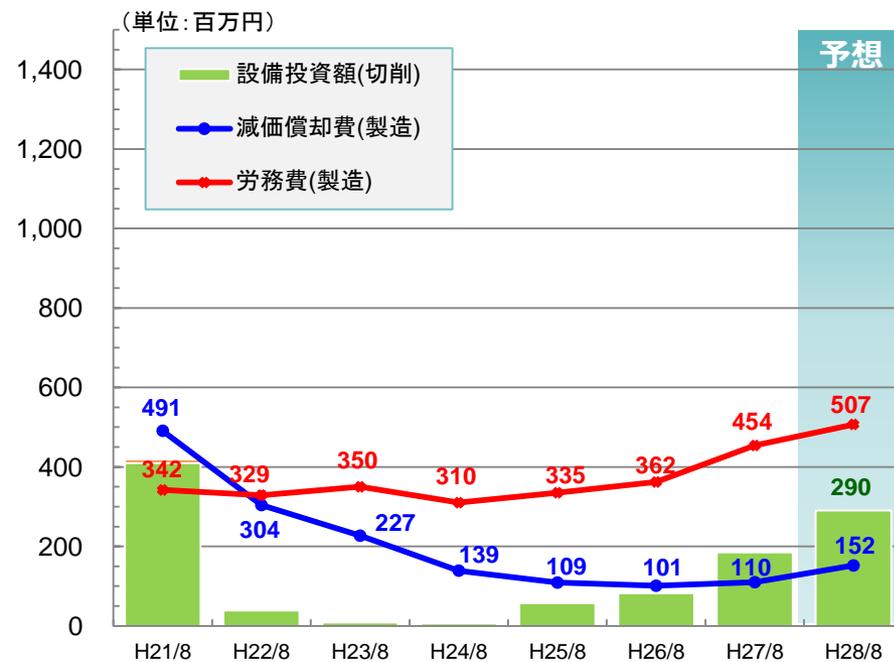
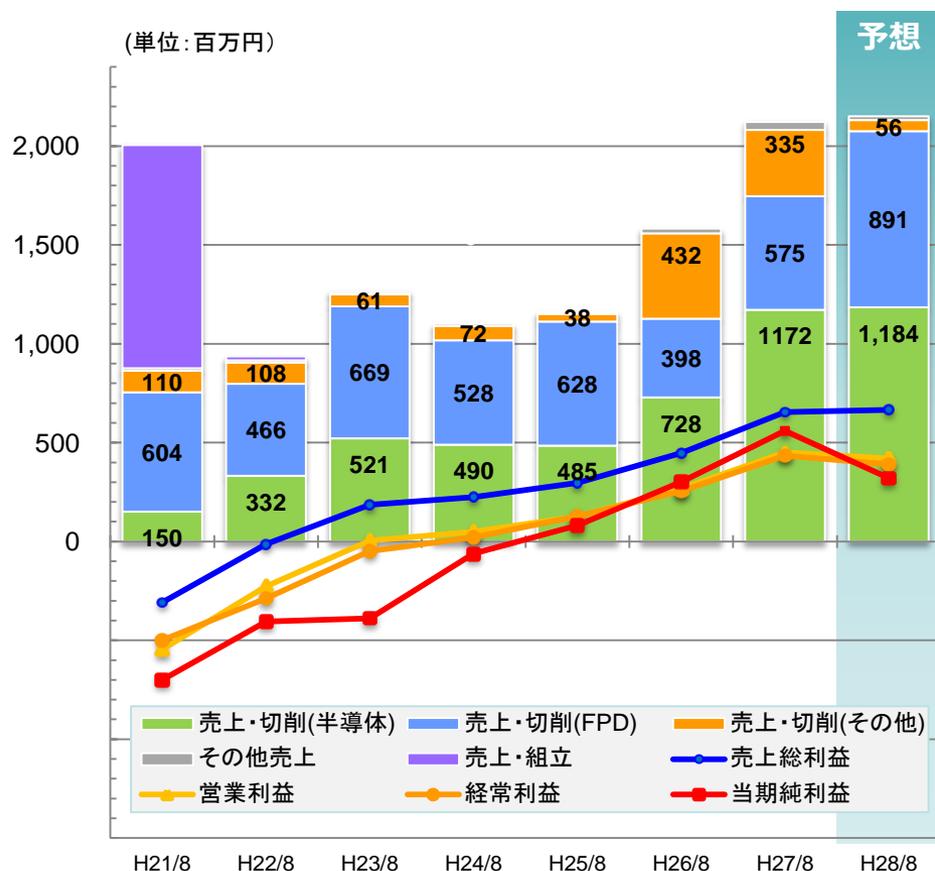
業績  
予想

(単位：百万円、1株当たり当期純利益は円)

平成28年8月期 業績予想	売上高	営業 利益	経常 利益	純利益	1株当たり 純利益
通期	2,150	420	390	320	60.74

Point

- ✓ 平成28年4月1日に修正開示。
- ✓ 売上高は、主にFPD分野の受注が好調に推移し増額修正。3Q以降は半導体が一時停滞も足元は過去最高水準へ拡大。
- ✓ 損益面は、売上高の増加により営業・経常・四半期純利益修正。3Q以降も順調に推移。



# 4.中期事業計画「Evolution2018」

## 中期事業計画（計画期間H28/8期～H30/8期）の進捗

### 戦略

### 戦略と事業別方針



H27/8期

H30/8期

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先  
株式会社マルマエ 管理部総務課 IR担当

[ir@marumae.com](mailto:ir@marumae.com)

TEL 0996-64-2900 FAX 0996-64-2863



# Company Profile

企業情報

## 当社製品は世界中で半導体・液晶製造装置の心臓部を支えています

**主要工程**

- エッチング
- CVD
- コータ/デベロッパ
- スパッタ
- 枚葉洗浄
- アッシング
- ウエハーボンディング
- イオン注入
- アニール

**主要製品**

- 真空チャンバー
- シャワーヘッド
- 排気板
- 静電チャック
- ヒーター類
- 上部電極
- ターゲット
- 搬送系パーツ類
- 各種真空パーツ類

※画像はイメージです

## 総合力で未来を拓く -真空パーツ・マシニング・門型加工の専門メーカー-

<b>会社名</b>	株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd.)		<b>大株主</b>	前田 俊一	2,786,100株
<b>設立</b>	昭和63年10月			株式会社マルマエ (自己株)	328,382株
<b>資本金</b>	1億3585万円 (平成28年5月31日現在)			前田 美佐子	252,000株
<b>役員</b>	代表取締役社長 前田 俊一 専務取締役 山元 弘 取締役 海崎 功太 取締役 藤山 敏久			マルマエ共栄会	112,100株
		取締役 兒島 吉二 取締役 寺畑 幸雄 取締役 梶 智和		川本 嘉世子	107,600株
<b>従業員数</b>	126名 うち 臨時雇用者等50名 (平成28年5月31日現在)			日本トラスティ・サービス 信託銀行	95,500株
<b>所在地</b>	本社	〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41		前田 良子	90,000株
	関東事業所	〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15		五十嵐 光栄	83,700株
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精密機械・精密機器の設計・製造・加工・組立</li> <li>・精密機械部品の設計および製作</li> <li>・溶接部品の設計製造</li> <li>・運送業務</li> </ul>			齊藤 格	62,700株
<b>経営理念</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.技術は究極を目指し</li> <li>2.競争と協調を尊び</li> <li>3.技術注力企業として社会に貢献する</li> </ol> <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。 そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>			渡辺 勉	49,600株
				敬称略 平成28年2月29日現在	

総合力で未来を拓く -真空パーツ・マシニング・門型加工の専門メーカー-

年月	沿革
昭和40年4月	鉄工所を故前田務（元社長、元相談役）が個人で創業
昭和63年10月	マルマエ工業有限会社（現当社）設立（出資金2,000千円）
平成4年	オートバイ部品製造目的のT'sM'sR&D（現当社事業）を前田俊一（現代表取締役社長）が個人で創業
平成9年9月	T'sM'sR&Dの事業をマルマエ工業有限会社に統合しR&D事業部を設置
平成13年4月	株式会社マルマエに商号及び組織変更（資本金10,000千円）
平成15年12月	鹿児島県出水郡高尾野町（現出水市）に本店移転、本社新工場竣工、大型5面加工機導入
平成16年12月	日本証券業協会によるグリーンシート銘柄指定（証券コード6264）
平成17年12月	本社第2工場竣工
平成18年2月	鹿児島県出水市知識町の旧本社工場再取得
平成18年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
平成19年2月	熊本事業所（熊本県菊池郡大津町）が稼動を開始
平成19年5月	経済産業省発表の2007年度版「元気なモノ作り中小企業300」に選定
平成20年3月	本社第4工場竣工
平成20年4月	関東事業所（埼玉県朝霞市）が稼動を開始
平成23年4月	熊本事業所の閉鎖
平成23年7月	事業再生ADR手続の成立
平成23年8月	A種優先株式の発行
平成27年1月	事業再生ADR手続による事業再生計画の終結

※注 個人事業部分については、月次の確定が困難なため月の記載を省略しております。